

| | | |
|--------------|---|--|
| <h1>SDT</h1> | <h2>制振工学研究会通信</h2> <p>SOCIETY OF DAMPING TECHNOLOGY NEWS</p> <p>2013年12月号</p> | <p>2013年12月 1日発行 編集 集：会報編集委員会 編集責任者：小白井 敏明 担当者：山口 道征 URL http://www.sdt-jp.com E-Mail: info@sdt-jp.com</p> |
|--------------|---|--|

◇お知らせ

・本通信により会員各位に有用な情報を提供すべく毎月の編集会議では頭を悩まして議論しております。つきましては、ここで取り上げてほしい事がございましたらそのご要望を次のアドレスまで是非お寄せください。

E-MAIL: yamagu@pc.highway.ne.jp

◇研究会の行事案内

| 開催日時 | 開催地・会場 | 名 称 | 内 容 |
|------------|----------------|-------|--|
| 13. 12. 13 | 東京都立産業技術研究センター | 技術交流会 | 定例会、懇親会 http://www.sdt-jp.com/ |

◇分科会・WG・委員会の予定

| 開催日時 | 開催地・会場 | 名 称 |
|------------------------|-------------------|------------------------|
| 13. 12. 3 15:00~17:00 | 工学院大学新宿校舎A-1711室 | 文献調査分科会 |
| 13. 12. 4 13:00~17:00 | B&Kジャパン2F. C&D会議室 | 計測・評価技術分科会、粘弾性特性比較検討WG |
| 13. 12. 5 13:00~17:00 | B&Kジャパン2F. C&D会議室 | 計測・評価技術分科会、音響管計測WG2 |
| 13. 12. 20 14:00~15:00 | リオン(株)会議室 | 会報編集委員会、ホームページWG |
| 13. 12. 20 15:00~17:00 | リオン(株)会議室 | 会報編集委員会 |

◇会員消息 (2013年12月 1日現在)

| ○会員数 | | ○入退会者 |
|------|------|-------|
| 法人会員 | 28 社 | — |
| 個人会員 | 52 人 | — |
| 学生会員 | 3 人 | — |

◇関連学協会等の行事案内

| 開催日 | 開催地・会場 | 名 称 | 主催団体及び内容 |
|--------------|-----------------------|--|--|
| 13. 12. 3- 4 | 大阪科学技術センター (大阪市西区) | 機械加工・計測の基礎と ものづくり最前線 | 日本機械学会関西支部 http://www.kansai.jsme.or.jp/Seminar/kou329.html |
| 13. 12. 5- 6 | 化学会館 (東京都千代田区) | 第33回レゾナンス講座 -基礎と測定法- | 日本レゾナンス学会 http://www.sri.or.jp/pdf/syusai%2033kouzareoreoji_120506.pdf |
| 13. 12. 6 | 工学院大学 (東京都新宿区) | 自動車の振動騒音とうまくつきあう 方法-実験・CAE技術の歴史と進化- | 自動車技術会 http://www.jsae.or.jp/tops/topic.php?code=1097 |

◇技術情報

会員企業紹介

制振構法による耐震改修「粘弾性ダンパー工法」のご紹介

株式会社 鴻池組
 〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町 3-6-1
 TEL : 06-6245-6500 (代表)

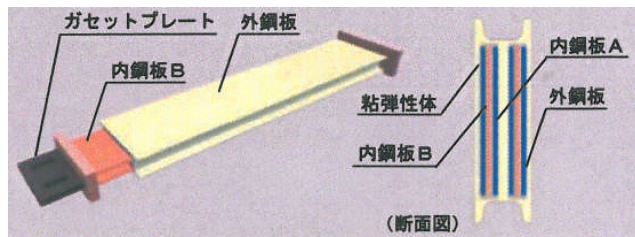
■粘弾性ダンパー工法の概要

本工法は、制振構法による耐震改修工法で、建物のフレームにパネル又はブレース形式の粘弾性ダンパーを取り付ける工法です。

鋼材間に挟み込まれた高分子材料の粘弾性体が、地震時に変形することによって地震エネルギーを吸収し、建物の構造安全性を高めます。

2011年3月に発生した東北地方太平洋沖地震では、本工法で改修した大学校舎等に大きな被害はなく、制振構法の効果が発揮されました。

(次ページに続く)



粘弾性ダンパーの構造



学校体育館の改修例

■改修の特徴

- ブレース形式やパネル形式を基本として様々な形態で建物に取り付けられます。
- 粘弾性体が地震エネルギーを吸収するため、建物に働く地震力が軽減でき、既存の構造部材に過大な負担を掛けません。
- 形態や設置箇所の工夫により、工事期間中も建物の使用が可能で、改修後も建物の使い勝手を損ないません。

※特許・技術評価

【性能証明】

性能証明 第 02-14 号 (財)日本建築総合試験所

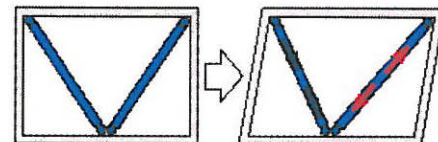
【NETIS(新技術情報提供システム)】

CB-030016-A 国土交通省

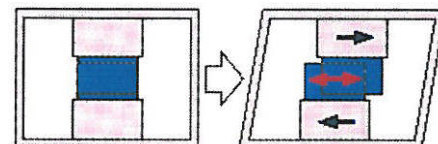
【特許登録】

特許 第 2987331

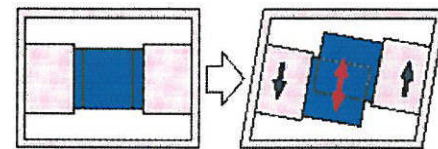
○粘弾性ダンパーの形態例



ブレース形式



パネル形式 (水平ずれ)



パネル形式 (鉛直ずれ)

■採用事例

学校、庁舎、病院など公共性の高い建物から、集合住宅や事務所ビルまで幅広い用途の建物における耐震改修で採用されています。

- 学校建築での事例・・・工事に伴う引っ越しを避け、短期間で工事を行うために、外壁や廊下側壁への設置例が多い。



外壁への設置例



廊下側壁への設置例



教室間への設置例

(次ページに続く)

○集合住宅での事例・・・採光の確保、使い勝手を損なわないことが計画のポイントになります。



[補強工事時]
パネル形式の粘弾性
ダンパー



[工事完了後]
ALC版でダンパーを
カバー



妻壁への設置例

事務窓口

〒101-0061東京都中央区銀座 2-10-18 一般社団法人 日本合成樹脂技術協会

Tel. 03-3542-0261

Fax. 03-3543-0619

URL <http://www.sdt-jp.com>

E-Mail: info@sdt-jp.com